

2005年4月9日

報道各位

住友金属鉱山株式会社
三井物産株式会社

ニューカレドニアニッケルプロジェクトへの参画に関する本契約の締結について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 社長：福島孝一 以下「住友」）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区 社長：槍田 松瑩 以下「三井」）とは、カナダのニッケル生産大手であるインコ社（Inco Limited、本社トロント）と、インコ社がニューカレドニアで開発を推進しているゴロ・ニッケルプロジェクト（Goro Nickel Cobalt Project 総事業費 約 18.78 億ドル、以下「ゴロ・プロジェクト」）への参画について、4月8日（フランス時間）に本契約を締結いたしました。

昨年10月にMOU（合意趣意書）を締結し、参画の基本合意に達したのち、条件の細部について協議を進めて参りましたが、このたびインコ社との間で最終合意が整ったものです。

住友および三井は、このプロジェクトへの出資を目的として、オランダに新会社「Sumic Nickel Netherlands b.v.」を設立いたしました（出資比率：住友 52.38%、三井 47.62%）。両社は新会社を通じて、ゴロ・プロジェクトの運営主体であるゴロ・ニッケル社（Goro Nickel SA）の株式をインコ社より取得することにより、プロジェクトに参画します。ゴロ・ニッケル社に対する Sumic Nickel Netherlands b.v.の出資比率は 21%で、今後発生するプロジェクト開発費もこの比率で負担して参ります。

また、このプロジェクトへの参加により、住友および三井は、出資比率相当分のニッケルおよびコバルト製品を引き取る権利を保有します。

ゴロ・プロジェクトは、「HPAL法」を用いた、現在世界で最も注目を集めている世界最大級のニッケル開発プロジェクトです。開発対象のニッケル資源量についても世界最大規模のものが期待されており、長期間にわたる事業を予定しています。プラント建設工事が完了する 2007 年秋以降、年間約 4 百万トンの鉱石採掘・処理を行い、酸化ニッケル約 60 千トン/年（ニッケル地金換算）および炭酸コバルト約 4～5 千トン/年（コバルト地金換算）を生産する予定です。

住友は、中期経営計画で発表したとおり、資源・金属事業をコアビジネスとし、「10年後の非鉄メジャークラス入り」を目標として、ニッケル事業についてもコーラルベイ（フィリピン：三井も参加、出資比率 18%）でのニッケル精錬プラントによるニッケル中間原料

の生産など優良資源の確保を着実に実現しております。このゴロ・プロジェクトへの参画により、さらにニッケル事業の基盤が強化されるものと確信しております。

三井は、ニッケル事業をコアビジネスである金属資源開発関連事業の一つとして位置づけしており、本事業参画により資源事業ポートフォリオを拡充し、収益基盤の更なる強化をめざして参ります。

世界のニッケル需要は、IT関連需要の拡大や中国を中心とするアジア地区でのステンレス需要の増加などから、将来的にも安定的な伸びが期待されており、この需要増に対応することが急務となっています。今回のゴロ・プロジェクトへの参画により、国内のみならず東南アジアを中心とした海外向けステンレス鋼原料供給体制の基盤整備が推進されることとなります。住友は今後も安定的な資源の確保と精錬能力の増強につとめ、また三井は堅調な伸びを示すと見込まれるアジア地区でのニッケル供給体制を築くことに注力し、引き続き両社ともコアビジネスである資源・金属事業の拡充・強化に努めて参ります。

H P A L 法 = 高圧酸浸出法 (High Pressure Acid Leaching)

(本件に関するお問い合わせ先)

住友金属鉱山株式会社

総務部広報室広報統括課長 高橋 雅史

T E L : 0 3 - 3 4 3 6 - 7 7 0 1

F A X : 0 3 - 3 4 3 4 - 2 2 1 5

三井物産株式会社

広報報道室 岡田 英樹

T E L : 0 3 - 3 2 8 5 - 7 5 6 2

F A X : 0 3 - 3 2 8 5 - 9 8 1 9

(参考資料)

- 1 . ゴロ・プロジェクトの概要
- 2 . INCO 社の概要
- 3 . Sumic Nickel Netherlands b.v.の概要
- 4 . ニューカレドニア地図

以上

(参考資料 1)

ゴロ・ニッケルプロジェクトについて

Inco Ltd社（カナダ）が主体となって開発計画を推進してきた過去最大のニッケル開発事業。フランス領ニューカレドニア島の南端に位置するGoro地区、Prony地区にある大規模ニッケル酸化鉱床を対象に、高圧酸浸出法（High Pressure Acid Leach = HPAL法）によるニッケル製錬法で、酸化ニッケルおよび炭酸コバルトの生産を計画している。

1990年代半ばからパイロットテストにより周到なプロセス検証を行っており、高水準の技術レベルを保持している。プロジェクトの概要は次の通り。

- 1 . 事業主体 : Goro Nickel SA (フランス法人)
本社 : フランス共和国パリ
社長 : R. Renton
従業員数 : 167名 (2003年12月現在)
主要株主 : INCO社 (90%) \ SPMSC (10%)
(* SPMSC : Société de Participation Minière du Sud Calédonien)
- 2 . 総事業費 : 約18.78億米ドル
- 3 . 年間鉱石処理量 : 約4百万トン
- 4 . 年間生産量 : ニッケル約60千トン (Ni量換算)
コバルト約4 ~ 5千トン (Co量換算)
- 5 . 生産開始時期 : 2007年秋を予定

以 上

(参考資料 2)

インコ社の概要

社 名 : Inco Limited
設 立 : 1902年
本 社 : カナダ・オンタリオ州トロント
役 員 : 会長 Scott.M.Hand
 社長 Peter C Jones
資本金 : US\$2,891百万 (2004年末)
従業員数 : 10,973人 (2004年末)
主要事業 : ニッケル鉱石生産、ニッケル地金生産、加工を含むニッケル関連事業、銅地金の生産、ニッケルの副産物であるコバルト、金、銀、白金族金属の生産を行っている。ノリリスク社 (Norilsk Nickel RAO : ロシア) に次ぐ世界2位のニッケル・プロデューサー。

過去3年間の財務概況 :

(US\$ million)	2004	2003	2002
売 上 高 Net sales	4,278	2,474	2,161
当期利益 Net earnings (loss)	612	153	(1,477)
資 産 Total assets	10,723	9,063	8,596
負 債 Total liabilities	5,654	4,739	4,420
株主資本 Total Shareholder's Equity	4,540	3,882	3,791

過去 3 年間の主要製品生産状況 :

	2003	2002	2001
ニッケル地金 (000 t)	237	187	207
銅地金 (000 t)	124	91	112

主要鉱山

サドベリー : カナダ・オンタリオ 権益100%、世界最大のニッケル硫化鉱床帯
ニッケルのほか、銅、コバルト、貴金属を産出

トンプソン : カナダ・マニトバ 権益100%

ソロアコ : インドネシア・スラウェシ島 権益59% (住友金属鉱山20.1%)
ラテライトニッケル鉱床、山元にニッケルマット精錬所を保有

ゴロ : ニューカレドニア

主要精錬所

カッパー・クリフ : カナダ・オンタリオ 権益100%
ニッケル、ニッケル製品、銅、金、銀を生産

トンプソン : カナダ・マニトバ 権益100%
ニッケル、コバルト、貴金属を生産

ポート・コルボーン : カナダ・オンタリオ 権益100%
ニッケルを生産

以 上

(参考資料 3)

Sumic Nickel Netherlands b. v.の会社概要

- 本社 : オランダ国アムステルダム
- 設立 : 2005 年 3 月 17 日
- 主たる事業 : ニッケル、コバルト開発事業への投資ならびに製品販売
- 役員 : Management Board
持原鐸朗 (住友金属鉱山(株)常務執行役員金属事業本部副本部長)
家守伸正 (住友金属鉱山(株)執行役員金属事業本部副本部長)
中田敏郎 (三井物産(株)鉄鋼原料・非鉄金属本部ステンレス原料・新金属部長)
- 株主 : 住友金属鉱山株式会社 52.38%、三井物産株式会社 47.62%

以 上

(参考資料 4)

ニューカレドニア地図

